〔様式1〕

平成１９年度　事務事業評価表

記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	3296
平成１８年度部名	土木部	課名	道路補修課	課長名	石川正次
平成１９年度部名	土木部	課名	道路補修課	課長名	石川正次
事務事業名	交通安全に係る施設整備				
予算上の事務事業名	交通安全施設整備事業（箇所指定）				

1　総合計画における位置づけ	施策コード　32210
基本目標	Ⅲ「躍動し　魅力あふれる交流拠点都市」をめざして
政策名	第２章　質の高い都市基盤の整備を進めます
基本施策名	第２節　安全でゆとりある道路の整備
施策名	第１施策　人にやさしいみちづくり

2　実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等

3　個別計画の概要

計画名				概要
計画年次		年度～	年度	

4　事業形態の区分	維持･管理･補修	5　事業開始年度	平成17年度

6　事業概要

（１）事業の目的（何のためにに行うのか、またはもたらしたい成果）	（２）対象（誰、何）
各種交通安全施設の整備等を行い、交通安全の向上を図る。	市民

（３）平成１８年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。

南橋本駅のエレベータ新設に伴い、南昇降施設管理センターの監視システムの改修を行った。

7　関連事業・類似事業又は他市の状況

8　事業費の推移

〔単位：千円〕

年度	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
事業費	0	12,947	3,465	41,275	13,000
一般財源	0	12,947	3,465	41,275	13,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	8,050	8,050	12,075	8,050
事業コスト合計	0	20,997	11,515	53,350	21,050

9　事業効率・・・活動単位当たりの事業効率

事業名（主たる事業名）	交通安全施設整備事業	対象名称と単位	箇所数

年度	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
事業コスト(主たる事業)	0	20,997	11,515	53,350	21,050
対象数	0	3	1	1	3
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	6,999,000	11,515,000	53,350,000	7,016,667
前年度比		#DIV/0!	1.65	4.63	0.13

１０ 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの

指標名と単位	箇所数	指標式と指標の説明	箇所数

	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
実　　績	0.0	3.0	1.0		
目　　標	0.0	3.0	1.0	1.0	3.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	100.0	100.0		

１１ 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの

指標名と単位	箇所数	指標式と指標の説明	箇所数

	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
実　　績	0.0	3.0	1.0		
目　　標	0.0	3.0	1.0	1.0	3.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	100.0	100.0		

１２ 個別評価

（１）妥当性の評価 〔A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない〕

A

- ☐ ・法令、条例により実施することが義務付けられている。
- ☑ ・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。
- ☑ ・公益性が高い、または必需性が高い事業である。
- ☑ ・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。
- ☑ ・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。

（２）有効性の評価 〔A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない〕

A

- ☐ ・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。
- ☑ ・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。
- ☑ ・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。
- ☑ ・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。

（３）効率性の評価 〔A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い〕

A

- ☑ ・単位あたりの経費は適正である。
- ☐ ・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。
- ☑ ・受益者負担や補助等の割合に問題はない。
- ☑ ・事業の実施方法や実施体制は適正である。

（４）民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕

- ☐ ・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。
- ☐ ・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。
- ☑ ・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。
- ☐ ・市で実施する方が民間委託等をするより適している。

１３ 総合評価（一次評価）

（１）自動判定結果

★★★★

- 〔★★★★〕：良好な状態を維持する事業
- 〔 ★★★ 〕：概ね良好な状況である事業
- 〔 ★★ 〕：見直しを行う必要がある事業
- 〔   ★   〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業

（２）事業所管課長による評価（今後の方向性）

現状維持

- ☐ ・拡充・充実
- ☑ ・現状維持
- ☐ ・見直し
- ☐ ・廃止

（３）事業所管課長の評価に関する説明

交通安全施設の整備を行い、交通安全の一層の向上を図る事業である。

１４ 成果向上及び効率性を高めるための方策

19年度、南昇降施設管理センターに機能を一元化することで、監視体制の強化を図る。

１５ 課題として認識されたこと

大規模災害などの対応。

１６ 二次評価

（１）局内評価会議による評価 （今後の方向性）

現状維持

- ☐ ・拡充・充実
- ☑ ・現状維持
- ☐ ・見直し
- ☐ ・廃止

（２）二次評価コメント

・引き続き安全性の確保に努めるとともに、１９年度に実施予定の昇降施設管理センター機能の一元化等の監視体制の見直しについて充分検討する。
・みちの協会への委託基準について、整理する。